

宅配便の再配達問題

国土交通省のデータによると、単独世帯や共働き世帯が増加するなど、ライフスタイルが変化中、宅配便の約16パーセントが再配達になっています。再配達のために、余計にトラックが走行することで、年間約42万トンの二酸化炭素が排出されています。

これは、約18万人分の年間二酸化炭素排出量に相当します。(家庭部門における、1人当たりの年間二酸化炭素排出量2.3トン)

また、再配達も宅配ドライバーの負担にもなっています。

時間指定や、営業所止め、宅配ロッカーを上手に使う、1度で引き取れるようにしたいですね。弊社でも、集合住宅用宅配ロッカーを取り扱っています。お気軽にお問合せ下さい。



「Eco列車でいこう!」～第130回～ クロスバイクと山菜。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)



今年の1月頃だったでしょうか? ゴールデンウィークの計画を立てた。成田から台湾へ飛び、台北で1泊のあと、「花蓮」の山岳リゾートで1泊、最南端の海辺のリゾート「墾丁」で1泊、高雄で1泊をして帰国という日程で、「山」と「海」の両方を楽しむ贅沢な計画が出来た。さっそく航空券やホテルの予約をした。

2月に入ると、コロナウイルスの報道が増え始め、海外の渡航は厳しくなってきた。第2案として、新日本海フェリーの苫小牧便往復、道内を巡るためのレンタカー、富良野・霧多布・知床の宿を予約した。道東の果てしない一本道をドライブするのを楽しみに、コロナ終息を願った。

しかし、コロナの脅威は衰えることなく、北海道旅行も実現不可能になった。「不要不急の外出を控える」ということで、ゴールデンウィークの前半は「やすらぎ堤」へ散歩に行くなどの他、外出は控えた。

5月5日。「季節のものが食べたいな」と思った。運動不足解消も兼ねて、少し遠くまで買物に行きたい。

新潟駅近くにある自宅から、自転車を出発。ママチャリよりはちょっと良い「クロスバイク」で、3×8の変速ギアがついている。この買い物が「不要不急の外出」かどうかは怪しいが、20キロ先の目的地へ向かう。

弁天線を直進し、亀田方面へ。工業団地を抜けると、広々とした田園地帯となる。あいにくの曇天だが、雨の気配はない。上半身は気持ちよいが、下半身はキツイ。黙々と走って約1時間。「道の駅花夢里にいつ」着。名前の通り、花の鉢植えが大量に並んでいて圧巻である。常時2千種類・4万鉢の花や観葉植物があるとのことだ。

しばらく休憩して、JR古津駅方面へ向かう。新津丘陵の入口、県立植物園の横にある直売所で、お目当ての山菜が見つかった。「タラの芽」「ふきのとう」「こごみ」「ミズ」「ウルイ」の5種類を買って、1000円でおつりが来た。そのまま、県立植物園へ。温室は閉館中だが、屋外園地は開放されていた。

大きな池を中心に配する周遊路は1周1キロ。ゆっくり歩いて20分。ボタンやシャクナゲがきれいだ。ベンチに座り、直売所で買ったカステラパンを食べ、きれいな景色を見て、ゆったり時間を過ごす。

遠出はできなかったが、近くにも素晴らしい場所があるものだ。

南から青空が広がって、5月の爽やかな風が吹き始めた。

さて、「ミズ」や「ウルイ」が顔を出している小さなリュックを担いで帰るとしよう。新鮮な山菜が並ぶ晩酌が楽しみである。

